



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

掲示板法話

信心獲得すというは

南無阿弥陀仏の姿を心得るなり



先月、蓮如上人が「信心獲得章」を書かれたというお寺にお参りしました。この「信心獲得章」は本山や別院、一般のお寺でもなぜ毎月、親鸞聖人の御命日(十六日)に拝読されるのか?その秘密を知りたいと思ひ、和歌山県海南市の冷水御坊・了賢寺さまを訪ねたので

清水浦(いまの冷水浦)の住人・喜六太夫が蓮如上人のご教化に遇ひ釋了賢という法名を賜り、清水浦の飯森山に開かれた清水道場(今の了賢寺)に蓮如上人が1486年(文明18)3月、十年ぶりにお越しになりました。了賢と共に上人のご下向を心待ちにしていた作四郎という人はその時、大病で臥せっていたため、「是非一文、上人に認めて頂きたい」と申し入れました。

そこで上人は早速筆を執り、発語の言葉も略して「信心獲得すといふは第十八の願をこころうるなり」と書き始められました。が次の言葉が中々浮かんできません。上人は、しばらく考えを巡らせていると、夢かうつつか、不思議にも親鸞聖人が空中に現れて「この願

をこころうるといふは南無阿弥陀仏のすがたをこころうるなり」とおっしゃって京都・山科の方向に帰っていかれた、と思われて、上人は我に返り、後のお言葉をすらすらと書き下して、一気に書き上げられました。

上人は、「この御文は私が書いたけれども、親鸞聖人の直作であります」と言われて三度も押し頂き、「早く作四郎に読み聞かせてあげて下さい」とお弟子・慶聞坊に促しました。慶聞坊は急ぎ、作四郎の家を訪ねて蓮如上人の言葉を伝え、手渡しました。すると作四郎も三度御文を押し頂き、慶聞坊に拝読を頼みました。

作四郎は念仏称えながら拝聴していましたが、「されば無始以来つくりとつくる悪業煩惱をのこるころもなく、願力不思議をもって消滅するいわれあるがゆゑに正定聚不退の位に住すとなり」の段までくると自ら起き上がった合掌礼拝。「これによりて煩惱を断ぜずして涅槃をうといへるはこのころなり」というところで、「うれしや南無阿弥陀仏」と言って息絶えた、とのこと

☆行事ご案内☆

孟蘭盆会(うらぼんえ)法要

8月15日(木)午前8時半

10回目の孟蘭盆会法要、在所門徒様、納骨堂利用者様ご家族でご参詣下さい。正信偈、焼香、法話・



秋季永代経法要

9月21(土)・22(日)午後1時半より

講師：加藤正人先生(桑名)

お経開き(招待者)は21日(土)午前10時半より

夕方5時の鐘撞き年中無休、誰でも可、ご褒美有

一線会テレホン法話 059-354-1454 三重組5か寺が

40年間継続中の3分間テレホン法話。20冊目の法話集

善正寺ホームページ寺報善正寺だよりは毎月31年休まず

発行、大好評ブログ住職と坊守のつれづれ日記毎日更新

16年間で44万2千人訪問、一日平均80名、QRコード

でブログや寺報、善正寺ホームページを検索下さい。

新納骨堂後継者の無い方、お墓でお困りの方、相談を

法事場所法事場所でお困りの方、本堂使用可、寺に相談

新共同墓境内の石室に共同納骨 名入りプレート、安価



「信心獲得章」にこんなドラマがあったのか、と思うと感動新たです。親鸞聖人と蓮如上人の「二尊ご合体の御文章」と言われるがゆゑに、毎月十六日の親鸞聖人御命日に必ず拝読されるのです。了賢寺に伝わる蓮如上人直筆の御文章は海南市の指定文化財です。「信心獲得するとは、南無阿弥陀仏の姿を心得るなり」とは親鸞聖人、蓮如上人合体の珠玉のお言葉なのです。皆さん、お仏壇に所蔵の御文章を開いて、じっくり熟読して下さい。毎日、正信偈を拝読し、御文章を繰り返し読みする習慣を今一度心がけて下さいませ。

☆ 写真アラカルト ☆

仏教講習会
納骨参拝ご縁



善正寺
ホームページ



住職と坊守の
つれづれ日記

坊守スケッチ

野菜の声を聞く

ナスやキュウリ、トマト等の夏野菜が美味しい季節です。猛暑の中で収穫される方々も「苦勞の多いことだ」とお察しします。スーパーへ行けばどんな珍しい野菜も買えますが、採れたて新鮮野菜はめったに口に入りません。

野菜作り名人さんから聞いたお話です。彼は專業農家ではなく、定年後に畑で様々な野菜を育てています。

「野菜作りは先ず土作りから。よい土壌には立派な野菜が育ちます。育てる過程で『野菜の声を聞く』ことが大切」

「えっ、野菜が声を発しますか?」と、素人の私は頓珍漢な質問をしました。

「ええ、野菜にストレスがかかると、まっすぐに伸びたがっているのに、横の方へ枝を伸ばして、棘を出して抵抗します。虫や鳥などの外敵とも戦わねばなりません。ましてや近年の猛暑では十分な水分補給も欠かせません」

「成程、『人間の子育て』と同じですね。産んで終わりではなく、成長過程で四六時中目を離さず観察して、愛情を注ぐ覚悟が必要なのですね」と納得しました。野菜にもストレスがかかるとは、初耳でした。

昨今人間社会にも一人でストレスを抱え込んで、悩んでいる人が大勢います。そんな人にも、野菜を育てながら自己投影をしてみると、もしかして



悩み解決の糸口が見つかるかもしれません。

ところで『何故人だけが老いるのか』の著者小林武彦氏(生物学者)が「人だけが死を意識し公共を意識する。社会性の生き物である人は、集団として進化し生き残り、何よりも『絆』を大切にした動物。人にしかない老後を、社会との関係を維持しつつ、公共的に生きてはどうか?自分の為に使っていた時間を、社会の為、次世代の為に使う人ほど、より深く幸せに感じられませう」と興味深い提言をしています。

「野菜の声を聞く」から子育ての重要性を連想しましたが、同時に長い老後を生きる私達高齢者世代にも、貴重な老後の生き方のヒントになりました。

お知らせ

※令和6年度門信徒会費を、7月末から行事様、世話方様、住職が分担してお願いに上がり、ご協力下さいましてありがとうございます。感謝!

※8月15日午前8時半『第10回盆蘭盆会法要』納骨堂利用者様、門信徒様ら、皆様のご参詣をお待ちしています。

※北東角の掲示板増設毎月の『心に沁みる言葉』を掲載。「注目下さい!」

若坊守のこころ日記No.115

今年も猛暑の季節を迎えました。

夏といえば水泳の授業があります。私は小五の夏を思い出します。その年は猛暑でプールに入れる回数が多かったためか、記録をぐんと伸ばすことができました。確かバタ足10mしか泳げなかったのに、クロール50mになったのです。測定していた先生以上に私自身がびっくりして、高揚感でフワフワしていたのを覚えています。

「やればできる!」カナヅチだと思いついていた私には大きな自信でした。

我が家の長女は水泳の季節になると俄然やる気を出してきて、プールに連れて行くとおねだりし、お風呂でもお湯に潜っています。しかし今年も「熱中症警戒アラート」が発令されると、学校ではプールに入れないので、残念そうです。このまま地球温暖化が進めば、水泳の授業は学校のプールではなく、温水プールのあるスイミングスクールで季節関係なくやるようになるのでは、と想像してしまいます。

最近暑さ対策のグッズが進化して、店頭には様々な商品がズラリと並んでいます。それらを上手に利用してこの異常な暑さを乗り切り切りたいと思います。皆様もご自愛下さいませ。



カンパありがとう

TS様、UN様、MY様、西寺様、他切手・お志ありがとうございました。

俳壇

廃屋や繁る草伸び屋根の上 釋妙水
赤蜻蛉畦道悠々朝日浴ぶ

茄子買えばきゆうり二本おまけかな 釋榮邦
青空と青菜の海に深呼吸

大らかに峰を遊ばせ合歓の花
湯煙も梅雨に打たれて露天風呂
餅搗きの息子と娘曰と杵 釋住安
芽独活つみ先ずは天ぷら酒も良し

銀杏散り空の高さをながめをり
軒先をかわし一閃夏つばめ YM
闊歩する白いパンプス風薫る

麦秋や小津監督のレンズ越し TS
屋敷の子へ残す西瓜の幾切れや
裕ちゃんと祖母の命日七・一七

暗記本閉じ初夏の改札へ 釋秀龍
先生の足音夏の雨しづか
短夜やノートに匂う蛍光ペン

森林に老い鶯のやさやか 釋清風
ひまわりや戦地の平和願いをり
明け易し人それぞれの夢を見る

☆ 編集子より ☆
「善正寺だより」368号をお届けします。◇この夏は、猛暑と大雨の繰り返し、異常気象が常態化して、誠に過ごしにくい夏ですね。◇だが、限りある命を今生かされる尊さに目覚め、本当の「生まれ甲斐」ある人生と致したい。お盆の季節は、ご先祖の声を聞く季節ですね。合掌。

今年もお盆の季節が巡ってまいりました。大切なお身内を亡くされたご遺族はさぞお寂しいことだとお察しします。「長い老後を経験するのは人だけ」と生物学者の小林武彦先生は言われます。他の生物は自分でエサが獲れなくなったら死を迎えます。医療が発達し食糧にも恵まれた私達は、約40年間の「長い老後」を過ごします。「そんなに長生きしたくない」とピンコロリと死にたいと望んでも、現実には医者通りが増えて、認知症や癌などの思わぬ病気に罹り、最期は施設や病院で過ごす人が多いうようです。人は動物と違いコミュニケーション力に長け、絆を大切に生き延びました。しかし近年は家族が縮小して独居老人が増え、ペットを飼う人が増えました。ペットは確かに癒しにはなりますが、いつかは別れが待っています。私達が長い老後を生きるとは、今まで自分の為だけに使わなかった時間とお力ネを、少しは「世のため他人のため」にお裾分けしたら如何でしょうか？「他人と共有する幸せ」を見つけられる人は「おかげさま」が感じられます。ところで境内の共同墓に「俱会一処」と刻まれている石碑があります。先立つ人と「また会える世界が用意されている」と気付かせて頂くことで「安らぎ」の世界が広がります。お盆はそんな気持ちを再認識する期間です。8/15 AM 8時半 五箇金会法要にお参り下さいませ。合掌

令和6年8月

善正寺坊守拜